

第27回クリーンセンター滋賀環境監視委員会会議概要

1. 日時平成25年8月21日(水)14:15～17:00
2. 開催場所 クリーンセンター滋賀 研修室 他
3. 出席者 環境監視委員
学識経験者: 金谷委員長
住民代表: 中島(茂)委員、広岡(克)委員、東委員、
中邨委員、渡邊委員、中島(仁)委員
事業者: 深川委員
滋賀県: 青山委員
甲賀市: 福井委員、広岡(晃)委員、林口委員(代理出席)
環境事業公社: 中村(敏)委員
事務局: 財団法人滋賀県環境事業公社

〔 中村副理事長、中村事務局長、田中所長
中村副所長、西村参事、居川主査 〕



4. 議事概要

(1) あいさつ(公社 副理事長)

(2) 活動内容報告

- 1) 水質検査結果について……………資料1
- 2) 搬入実績報告について ……………資料2
- 3) 「放射線」および「硫化水素」の自主測定結果について……………資料3
- 4) 平成25年度クリーンセンター滋賀第2-2期施設整備工事について……………資料4
- 5) その他(現地視察)

【主な意見および質疑】

(水質検査結果について)

- ・測定項目の中の「浮遊物質量」(SS)とは何か。また、その測定方法は？
→いわゆる「濁り」であり、ろ紙で一定量の水をろ過し、重量を測定します。
- ・塩化物イオンは水処理では除去できないとのことであるが、特に問題はないのか？また、何のために測定しているのか？
→塩化物イオンはいわゆる「塩分」であり、自然界にも広く存在しています。下水道に放流していますが、下水処理においても除去することはできません。現状の塩化物イオン濃度は特に問題ありませんが、万が一浸出水の漏水等があった場合、地下水の塩化物イオンが上昇することから、地下水の監視の意味から測定を行っています。
- ・調整池出口の大腸菌群数が高い(H24.8: 70000MPN/100mL)ことがあるが、原因は何か？
→大腸菌のみを測定しているのではないので、おそらく自然系の細菌が増加したものと考えられます。
⇒調整池出口は年4回の調査であるが、8月の大腸菌が高い場合は9月に測定したり、池の中の数地点で測定するなどの対応をお願いしたい。
- ・水処理施設の能力は？近年ゲリラ豪雨などで「経験したことのない豪雨」が観測されているが、対応できるのか？
→能力は350t/日です。平成24年度の実績では平均で150～200t/日程度でありました。集中豪雨などで処理能力を上回る浸出水が生じたときは、まず貯留槽、次に貯留構造物、さらには処分場そのもので受け止め、徐々に処

理を進めるため、未処理で放流(下水道投入)することはありません。

(搬入実績報告について)

- ・平成 24 年度は約 3 万トンの搬入があったとのことだが、容量としてはどれくらいか？
→廃棄物の比重としては、転圧後で 1.1～1.2t/m³程度です。覆土等を含めると試算で 4.6 万 m³程度となります。なお、平成 24 年度は土堰堤などで土を多く入れたため、5.3 万 m³となっております。
- ・搬入時にチェックして持ち帰らせた状況や、過積載の状況について、次回から報告をお願いしたい。
- ・搬入実績の表に、搬入量と合わせて搬入業者数を報告頂きたい。

(「放射線」および「硫化水素」の自主測定結果について)

- ・硫化水素濃度の高い地点での測定や作業での事故が懸念される。防毒マスクの着用などは行っているのか？
→測定時に警報器を携帯していますが、少し(～1m)離れればほとんど検出されません。
→事故が起こってからでは遅い。次回の委員会において、ガス抜き管からどの程度の距離でどの程度の濃度になるのかを測定した結果、および作業マニュアル(どの程度近い作業ではマスクを着用する、どの程度離れば特別な対策は不要、など)を示していただきたい。
- ・放射線の測定方法で「地面から 1m 程度」と記載されているが、1m であれば 1m と明記するべきである。

(平成25年度クリーンセンター滋賀第2-2期施設整備工事について)

- ・1 期工事で設置した遮水シートと今回のシートとの接続については、荷重のかかり方が異なるため破損の心配がある。計算上の想定はされているとのことだが不安が残るため、改めて検討の上次回の委員会までに正副委員長まで提示いただきたい。(後ほど現地視察の時に状況を説明し、検討した結果、遮光マットを計画より延長して施工することで了解を得た。詳細は次回に報告する。)
- ・廃棄物の搬入は 9:00～16:00 であるが、工事車両の通行時間は？
→8:00～17:00 となっております。

(その他)

- ・県道南土山甲賀線の歩道に草が覆いかぶさっており、特に自転車での通行に支障がある。
→公社としても努力いたしますが、一義的には県道の管理に含まれるものと考えられますので、公社から甲賀土木へ対応を依頼します。

その後、工事状況を視察



◎次回、環境監視委員会は11月～12月に開催予定。